

平成18年度決算 268億の使い道

平成18年度の一般会計と特別会計の決算が、笛吹市議会定例会で認定されました。市民のみなさんが納めた税金や料金などのように使われ、まちづくりなどにどのように反映されたのか、その概要を報告します。

一般会計の歳入決算額は279億円で、平成17年度とほぼ同額になりました。主な内訳としては、市税が82億円で最も多く、以下、地方交付税73億円、市債38億円、国・県支出金34億円と続きます。

一方、歳出決算額は268億円で、こちらも平成17年度とほぼ同額です。内訳は、民生費が67億円で最も多く、次いで議会・総務費48億円、土木費34億円、公債費29億円、教育費25億円となっています。

合併3年目を迎え、さまざまな分野にバランス良く税金を投入したのが特徴です。

まず「活力ある交流都市」実現に向けて、石和温泉駅前の区画整理や花火大会の観覧席整備を行いました。

また、「快適な生活都市」実現のためにバイオディーゼル製造事業や児童手当支給事業を実施したほか、「個性輝く自立都市」実現のために屋内運動場の改築工事や保健体育費に税金を投入しました。

特別会計については表1のとおりです。

□ 財政用語ニ事典

市税：市民のみなさんが市に納めた税金（固定資産税43億円、市民税28億円、たばこ税5億円、都市計画税3億円、軽自動車税2億円、入湯税1億円）

地方交付税：市町村の財政状況に応じて国税から配分されるお金

市債：市の借金

国・県支出金：国や県からの補助金

民生費：福祉、年金、医療、保育所運営などに使われるお金

議会・総務費：議会や庁舎管理、戸籍事務などに使われるお金

土木費：道路・河川整備などに使われるお金

公債費：借金返済のためのお金

教育費：学校や図書館、公民館などに使われるお金

特別会計：一般会計とは独立して、特定の目的を持つ事業を行う会計

表1 特別会計の決算

国民健康保険特別会計	
(歳入)	71億 74万円
(歳出)	70億6518万円
老人保健特別会計	
(歳入)	61億9292万円
(歳出)	61億9292万円
介護保険特別会計	
(歳入)	38億9226万円
(歳出)	38億2787万円
介護サービス特別会計	
(歳入)	823万円
(歳出)	786万円
公共下水道特別会計	
(歳入)	36億8951万円
(歳出)	36億2457万円
農業集落排水特別会計	
(歳入)	9214万円
(歳出)	9068万円
簡易水道特別会計	
(歳入)	9億5621万円
(歳出)	8億8884万円
温泉事業特別会計	
(歳入)	8372万円
(歳出)	7527万円
恩賜県有財産保護財産区管理会 特別会計(合計額)	
(歳入)	4257万円
(歳出)	442万円
水道事業会計	
(収益的収入)	9億1822万円
(収益的支出)	9億 410万円
(資本的収入)	2億4442万円
(資本的支出)	6億3821万円

平成18年度に行った主な施策・事業

活 力ある交流都市の創造

石和駅前土地区画整理事業	3億5625万円
観光基盤施設整備事業	1億1676万円
八代南ふれあい公園整備事業	3819万円
県営畑地帯総合整備事業	3億1853万円
鳥獣害防止対策強化事業	3694万円

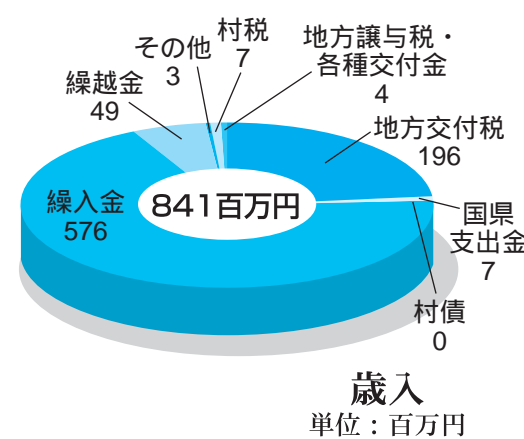
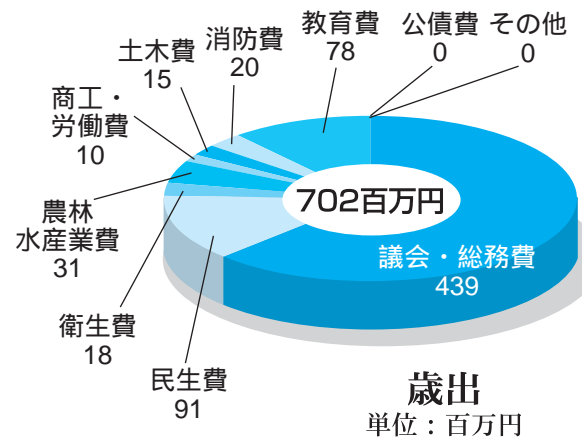
快 適な生活都市の創造

バイオディーゼル製造事業	1446万円
児童手当支給事業	4億8172万円
保育所費	16億4408万円
老人保護措置費事業	1億1232万円
市営住宅耐震診断事業	1383万円

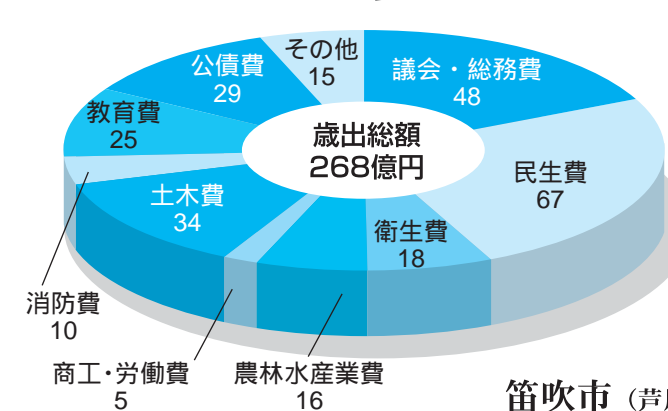
個 性輝く自立都市の創造

一宮西小屋内運動場改築工事業	8529万円
保健体育費	1億8749万円
図書館費	1億4822万円
笛吹市・芦川村合併準備事業	1億2499万円
男女共同参画事業	141万円

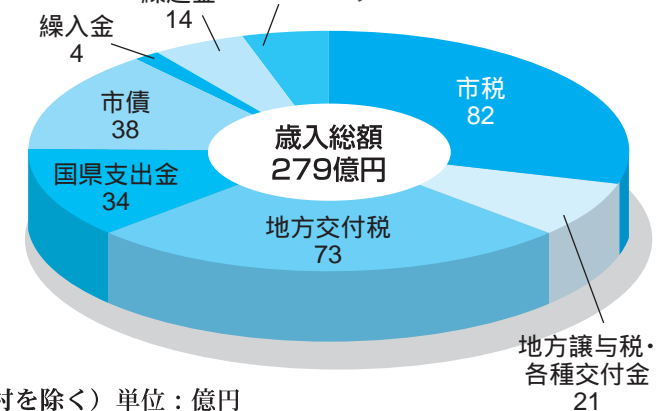
芦川村の一般会計決算



歳出



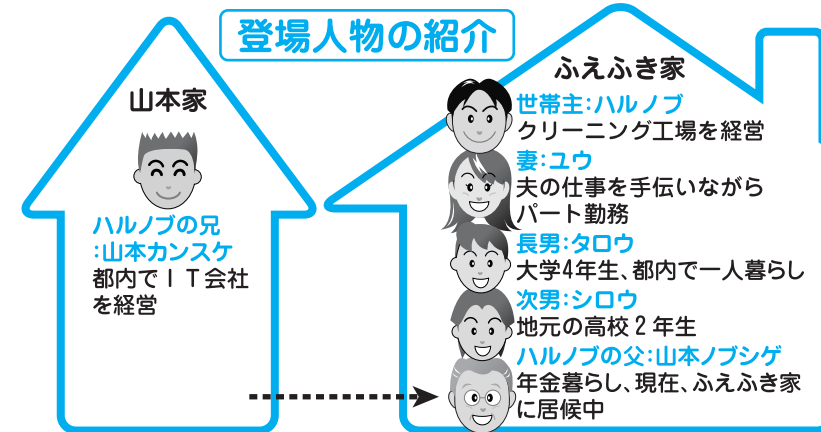
歳入



わがまちの

台所事情は？

一般会計決算を『ふえふき家の一年間の家計』に置き換えて、わたしたちが暮らしている笛吹市の台所事情を考えてみよう。



家族構成
 ふえふき家は、世帯主のハルノブと妻ユウ、長男タロウ、次男シロウの4人家族。
 父ノブシゲは、ハルノブの実家を継いだ兄の山本カンスケの家族だが、カンスケの仕事の都合で、去年からふえふき家に居候している。
 援助をあてにした生活設計
 ふえふき家の主な収入は、クリーニング工場の営業所得とパート収入。これだけでは、ローン返済をはじめ、家計をやりくりすることができないため、兄カンスケから生活費の援助を受けている。

兄:カンスケ
 「そうでもないんだ。最近では売上が減って、以前よりはいいんだ。」

世帯主:ハルノブ
 「もしも、カンスケ兄さんノブシゲじいさんの部屋の改築やらで家計がピンチなんだ。少し援助してくれないかな。兄さんとは景気がいいんだ。」

世帯主:ハルノブ
 「そうか、どこも大変なんだな。これからどうしよう...」

その晩、ふえふき家は家族会議を開いた。

世帯主:ハルノブ
 「...こんな状況だから、支出を減らす必要がある。みんなも協力してくれ。」

次男:シロウ
 「俺の小遣いを減らすのだけは勘弁してくれよ。タロウ兄ちゃんの仕送りの方が多いんだから。」

長男:タロウ
 「これ以上削られたら生活できないよ。それより、じいちゃん年金があるだろう。」

父:ノブシゲ
 「わしの年金をあてにしないでくれ。年金は病院の支払いでなくなってしまうんだ。これからもっと医療費が増えるかもしれない。」

妻:ユウ
 「みんな、自分のことだけじゃなくて、少しは家計のことも考えてちょうだい。私、パートを増やそうかしら。」

世帯主:ハルノブ
 「クリーニングの注文を増やしていくしかないな。ただ、カンスケ兄さんの援助は、あてにしないようにしないと。早く自立できるように頑張ろう。こんなことなら、借金してまで車を買わなきゃ良かったよ。」

長男:タロウ
 「俺もバイトを増やして、仕送りに頼らないで生活できるように頑張るよ。」

次男:シロウ
 「俺も協力するよ。明日から父さんの仕事を手伝うよ。」

妻:ユウ
 「ありがとだね。それともう一つ、おいしいものを食べ過ぎたわ。おかげでお父さんはメタボリックだし、私もかなり...健康のために、食事を少し減らすわね。」

世帯主:ハルノブ
 「今こそ家族が協力しないとな。となりでもカイカクを始めたそうだよ。いきなり家計を赤字にするのは難しいけど、このままではいけないと思う。いつまでも家族みんなが健康で暮らせるよう、健全な家計を築いていこうよ。」

家計の所得にあたる「市税」は市の主要な自主財源。収入に占める自主財源の割合が高いほど財政が健全。

ローン返済金にあたる「公債費」は、「扶助費」や「人件費」とともに削減が困難なお金。支出に占める割合が少ないほど健全。

生活費の援助にあたるのが「地方交付税」。標準的な行政に必要なお金は、「地方交付税」として国から支給されている。近年減少傾向。

(改築費の援助) 国・県は、特定の政策目的を達成するために市町村に「支出金(＝補助金)」を交付する。ノブシゲの部屋の改築はカンスケの意図するところでもある。

(小遣い) 笛吹市では、社会福祉協議会や行政区、観光連盟、医師会などに「補助費」を支給し、公共的な活動を応援している。

(医療費) 生活保護や高齢者福祉などの社会保障にかかる支出を「扶助費」と言う。高齢化に伴って扶助費が増え続けている。

家計の借金にあたる「市債」は、資金調達の手段の一つ。
 笛吹市の市債残高は、一人あたり45万円、特別会計を含めると91万円になる。一方、貯金残高にあたる基金は一人あたり14万円となっている。
 車の買い換えのよつに将来の財産となる支出を「投資的経費」という。道路や学校の建設費など金額が大きいのが特徴。
 家計の仕送りにあたるのが「繰出金」。国保や水道など特別会計は、一般会計からの繰出金で補われている。仕送りに頼らず、自立できるのが理想。
 食費にあたる支出を「人件費」に置き換えてみた。笛吹市では5年間で職員100人減という目標を掲げ、スリムな市役所づくりに取り組んでいる。
 厳しい財政の中でまちづくりを行っていくため、行政と議会、地域、団体、企業、そして市民が協力して取り組む必要がある。

財政破たんが起きないよう、財政健全化を判断する指標を作成中。

問合せ先
 総務部 財政課 行政改革担当
 055(262)4111
 (内線269)

ふえふき家の家計簿

支出		収入	
【ふえふき家の家計簿】 1/5000 【一般会計決算】		【ふえふき家の家計簿】 1/5000 【一般会計決算】	
支出の内訳 (万円)	性質別歳出 (億円)	収入の内訳 (万円)	歳入内訳 (億円)
食費 ^⑩ 100	人件費 ^⑩ 50	昨年からの繰越し 27	繰越金 14
税金、保険、医療 ^⑥ 65	扶助費 ^⑥ 32	クリーニング工場の年間営業所得 ^① 164	市税 ^① 82
住宅ローンの返済 ^② 58	公債費 ^② 29	妻の年間パート収入 42	地方譲与税、各種交付金 21
光熱水、衣類、住居、教育、その他 89	物件費 44	生活費の援助 ^③ (兄から) 146	地方交付税 ^③ 73
家の改築、車の買換え ^⑦ 71	投資的経費 ^⑧ 36	家の改築費の援助 ^④ (兄から) 67	国・県支出金 ^④ 34
ボイラーの修理 1	維持補修費 1	家の改築費の借入れ ^⑦ (銀行から) 76	市債 ^⑦ 38
次男への小遣い ^⑤ 42	補助費 ^⑤ 21	定期預金の解約 9	繰入金 4
長男への生活費の仕送り ^⑨ 68	繰出金 ^⑨ 34	雑収入 27	その他 13
定期預金の積立 41	積立金など 20	収入合計 558	歳入合計 279
支出合計 536	歳出合計 268		